

# オープン・キャンパスの最適日

—8月1日と11月3日と—

菅野 憲司  
千葉大学 文学部

## 1. はじめに

本個人研究発表では、オープン・キャンパスというものの背景を再確認し、オープン・キャンパスの最適日が8月1日と11月3日とであることを確認し、オープン・キャンパスと関連することの展望を試みる。

## 2. オープン・キャンパスの背景

オープン・キャンパスは、日本語に翻訳すれば「構内公開」であり、必ずしも大学（学部）説明会ではないものの、例えば、千葉大学では、一昨年度から8月の学部説明会を、夏季オープン・キャンパスと、そして、11月の大学説明会を、秋季オープン・キャンパスと、それぞれ、呼び改めるようになった。大学のHPに掲載されるのと時期が符合しつつ、大学（学部）説明会を更に（夏・秋季）オープン・キャンパスと呼び改めて、学外特に受験生への周知という側面がより強くなったのである。

## 3. オープン・キャンパスの最適日

オープン・キャンパスの目的が、大学なりの主催者側から受験生等の参加者側に進学に関する説明の機会を提供であると考えられることができるため、参加がより可能であればあるほど、オープン・キャンパスにより適すると思えることができる。参加が可能である度合いを「参加可能性」と呼ぶことにすると、「参加可能性」には次の3つの要素があると考えられるのではないだろうか。

「参加可能性」3要素： ①時宜的（時期が適っている）  
②実行的（困難が伴わない）  
③唯一的（他とは重複しない）

この「参加可能性」3要素から、次節と次々節で、オープン・キャンパスの最適日が、8月1日と11月3日であることが、説明される。

## 4. 8月1日

2007年8月1日（水）13時から行われた千葉大学文学部（夏季）オープン・キャンパスは、定員180人に対して昨年度（同日同時間開催）より200名増加させ1,228人の参加であった。この参加者数に見られる盛況を、「参加可能性」3要素から説明することは容易

である。

まず、①時宜的（時期が適っている）については、「夏（休み）を制する者、受験を制する」等の言い習わしがあるように、オープン・キャンパスは、夏休みが時宜を得ており、取り分け8月の初日が、特に受験生に、時宜を得ていることに異論の余地はない。

次に、②実行的（困難が伴わない）については、6月1日とは異なって8月1日が晴れの特異日とはされていないものの、8月1日に行われてきた高校総合体育大会の開会式が、一昨年幕張メッセという屋内で行われた際が雨という例外で、晴れないことが極稀で、雨で足場が悪いという困難が伴いにくいのである。

そして、③唯一的（他とは重複しない）については、本年7月上旬JR東日本電車で唾然としたことに、吊り革をはじめ車内広告という広告が大学等のオープン・キャンパスのものであった、にも拘らず8月1日だけは唯一例外的にオープン・キャンパスの開催がなく、わが学部に関心があれば、他との重複という選択の余地はなしで済ませる訳だった。

## 5. 11月3日

千葉大学（秋季）オープン・キャンパスは、昨年度は11月3日に、今年度は11月4日（日）に、開催され、けやき会館という建物の大ホールがほぼ満員であった。この盛況についても、「参加可能性」3要素から説明することは容易である。

まず、①時宜的（時期が適っている）については、かつて千葉県高等学校校長会の要請で、11月上旬ではなく11月下旬に実施されるようになった推薦入試直前であり、今年度入試シーズンの幕開け中の幕開け、受験生にも、保護者や担任教員にさえ、時宜を得ていることは言を待たない。

次に、②実行的（困難が伴わない）については、10月10日と並び、11月3日は、言わずと知れた晴れの特異日であり、雨で足場が悪いことは極々稀で、参加には好都合な要因であろう。11月3日であれば、*Should it rain on November 3rd, ...?*という「万一…？」の意味の仮定法未来が使われる位に参加を促すであろうし、今年度のような11月4日オープン・キャンパス開催では、降水確率が低くないことを忘れるべきではない。なお、11月3日が文化の日という祝日であることも、実行的に参加の可能性を高めることも言うまでもなからう。

そして、③唯一的（他とは重複しない）については、ゴールデンウィークに対してシルバーウィークと呼ばれたことがある11月3日を中心とした期間が大学祭のラッシュで、なおかつ、本学もそうであるように、大学祭中にオープン・キャンパスが開催されることが増加の一途を辿り、11月3日は8月1日のような訳にはいかない、ただし、剣道の全日本選手権の開催が11月3日文化の日で定着しているように、この定着しやすい定着の確立こそが、他との重複に対して、優先（性）を生み出しやすいと言えないこともない。

## 6. オープン・キャンパスの展望

オープン・キャンパスを理由に、出張講義や大学見学を避けようとするを見かけないではないけれども、大学（学部）説明会がオープン・キャンパスと呼び改められた次の段階が、「大学へから大学からへ」の出張講義や「一般から個別へ」の大学見学へと移行しつつあることを（再）確認すべきである。（2007年11月25日脱稿）